

各 位

会 社 名 株式会社 プラコー  
 代表者名 代表取締役会長兼社長 高寺 茂覚  
 ( J A S D A Q ・ コード 6 3 4 7 )  
 問合せ先 経理部長 前島 均  
 電話 0 4 8 - 7 9 8 - 0 2 2 2

特別損失の発生及び平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間並びに通期の業績予想の修正に関するお知らせ

この度、当社において下記のとおり、特別損失が発生致しましたので、その概要をお知らせするとともに、最近の業績動向を踏まえ、平成 20 年 5 月 20 日に公表しました平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日）及び通期（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）の業績予想について、下記のとおり修正しましたのでお知らせ致します。

記

1. 特別損失の内容及びその金額

当社は、平成 21 年 3 月期第 1 四半期において、棚卸資産を従来の原価法から収益の低下による簿価を引下げた低価法に変更したことによりたな卸資産評価損失 158 百万円を計上したこと並びに、保有する資産について保守的な見地により厳格な評価を行ったことにより、固定資産（本社工場及び掛川工場）の減損損失や機械及び装置の一部を除却したため減損損失として 263 百万円を計上した結果、特別損失 421 百万円を計上することと致しました。

2. 平成 21 年 3 月期の業績予想の修正について

(1) 平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想数値の修正（平成 20 年 4 月 1 日 ～平成 20 年 9 月 30 日）

(単位：百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 20 年 5 月 20 日発表)	1,868	61	29	26
今 回 修 正 予 想 (B)	1,820	△72	△102	△462
増 減 額 (B-A)	△48	△133	△131	△488
増 減 率 (%)	△2.6	—	—	—
(ご参考) 前年同期 (平成 20 年 3 月期中間期)	1,755	△50	△79	△75

(2) 平成 21 年 3 月期通期業績予想数値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日 ～平成 21 年 3 月 31 日)  
(単位：百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 20 年 5 月 20 日発表)	3,818	165	100	94
今 回 修 正 予 想 (B)	3,668	60	0	△363
増 減 額 (B－A)	△150	△105	△100	△457
増 減 率 (%)	△3.9	△63.6	△100	—
(ご参考) 前期 (平成 20 年 3 月期) 実績	3,522	△13	△75	△76

#### 4. 理由

##### 業績

##### 売上高

当第 2 四半期累計期間における売上高につきましては、海外の大口引合いや、国内ユーザーが、プラスチック原料が当初の見通しよりも更なる値上りを行ったことなどにより、契約を見合わせるなど受注高が減少したため第 2 四半期累計期間の新規の売上は大幅に減る見込みであります。本日付、「過年度決算短信等の修正に関するお知らせ」のとおり、前年の売上訂正分を第 1 四半期累計期間に追加計上したことにより売上高は若干の減少にとどまる見込です。また、通期の売上につきましては、第 3、第 4 四半期に、6 月に開催された展示会後のリサイクル装置、前期に上市した新型ブロー成形機の販売や、一時契約見合わせのあった海外向けのインフレーション成形機の販売を見込んでおりますが、上半期における売上の減少を吸収しきれず、通期の売上は 3,668 百万円を見込んでおります。

##### 利益面

##### 営業利益、経常利益

利益面では、第 2 四半期累計期間については、コスト引下げの努力を行いました。が、売上高の減少や原材料の予想以上の値上りと、展示会等の一般経費が大幅に増加したため、営業利益、経常利益共に、第 2 四半期及び通期予想をそれぞれ前回発表の予想を修正するものです。

##### 当期純利益

平成 21 年 3 月期第 1 四半期において、棚卸資産の低価法への変更に伴う損失や、固定資産の減損損失や機械及び装置の一部を除却し、特別損失に費用計上したため、第 2 四半期累計期間及び通期予想をそれぞれ前回発表の予想を修正するものです。

以 上